

## コロナ貧困の女性やDV被害女性を1人でも多く救いたい！ 日本女性財団、「READYFOR」にてクラウドファンディングプロジェクトを公開 250万円を目標に7月8日から8月31日まで支援募集

一般財団法人日本女性財団(所在地:千代田区大手町、代表理事:対馬 ルリ子)は、コロナ禍で増加する貧困やDV被害にあった女性たちを1人でも多く支援するため、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて「独りで悩まないで。全国の女性医師たち15名と、苦しむ女性を救いたい」を公開いたしました。本日7月8日(木)より8月31日まで250万円を目標に支援金を募集いたします。

<7月8日(木)8時 公開プロジェクトページURL: <https://readyfor.jp/projects/femship>>

The screenshot shows the READYFOR crowdfunding interface. At the top, there is a search bar and a 'ログイン・登録' (Login/Register) button. Below the navigation bar, the project title is '独りで悩まないで。全国の女性医師たち15名と、苦しむ女性を救いたい' (Don't suffer alone. I want to help 15 female doctors across the country and women in distress). The project is by '一般財団法人日本女性財団' (Japan Women's Foundation). The main image shows a female doctor in a white coat and mask, with a text overlay: 'コロナ禍でDVや性被害などで苦しむ女性たちが頼れる場所' (A place where women suffering from DV or sexual violence in the COVID-19 era can rely). To the right, the funding progress is shown: '支援総額 0円' (Total amount raised: 0 yen), '目標金額 2,500,000円' (Target amount: 2,500,000 yen), and a progress bar at 0%. It also indicates '支援者 残り 0人 54日' (Remaining supporters: 0, 54 days left). A red button says 'プロジェクトの支援にすむ (ログインが必要です)' (Support the project (login required)). Social sharing buttons for Facebook, Twitter, LINE, and Email are at the bottom.

当財団は、コロナ禍で貧困やDVで困窮する女性たちが増加するなか、昨年8月に発足しました。北海道から沖縄まで全国15箇所の産婦人科医などが「フェムシップドクター(femship doctor)」として連携し、各院に駆け込んできたDV被害や性被害を受けた女性たちのサポートをしています。政府や公的機関が相談窓口を設けて電話で支援などをしていますが、医師による緊急処置などの迅速なサポートも必要です。しかし、困窮する女性たちは、保険証を取り上げられていたり、診察に必要な費用を持ち合わせていないこともあり、医師の持ち出しで婦人科検診やキズの手当て、衣服や当日の食料提供等を行うことがあるのも現状です。今回のクラウドファンディングプロジェクトでは、適切な緊急処置やサポートを必要とする女性たちを一人でも多く救うことができるよう、女性約80名分の救済費用を募ります。そして、困窮する女性たちが安心して医師のもとに駆け込めるようにします。

※フェムシップドクターについて: [https://japan-women-foundation.org/support\\_list/](https://japan-women-foundation.org/support_list/)

### ■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・タイトル: 独りで悩まないで。全国の女性医師たち15名と、苦しむ女性を救いたい
- ・ページURL: <https://readyfor.jp/projects/femship>
- ・実行者: 一般財団法人日本女性財団
- ・目標金額: 250万円
- ・募集期間: 2021年7月8日(木)8時~8月31日(火)23時
- ・形式: All or Nothing形式 / 購入型
- ・検索ワード「日本女性財団 レディーフォー」

#### ■日本女性財団について

(一財)日本女性財団は、女性医師を中心に2020年8月に立ち上がった団体です。コロナ禍のなかで生理不順、うつ、体調不良が増加しています。さらに自粛生活は、家庭内のDVや性被害、望まない妊娠、貧困や栄養不良のシングルマザーの家庭などを直撃しています。診察をしても、その後、お金がなく通院をしない、DVの家庭に戻らざるをえない暮らしの女性たちがいます。中には、通院できない女性や、避妊薬が買えずに妊娠中絶を繰り返す若い女性もいます。医師が個人で支援や介在するには限界があります。シェルター、医療・福祉施設、自治体や警察、女性支援団体などと連携をとっていきます。当財団は女性のために活動をする団体を支援し、女性ならではの健康意識の向上を啓蒙する「フェムシップ活動」と女性たちのために立ち上がった「フェムシップドクター」と共に、今後も女性たちのために活動をして参ります。

#### ■日本女性財団 代表理事 対馬ルリ子よりコメント



厳しい環境下で生まれ育ち、虐待や暴力を受けている少女たちや、差別され不当な扱いを受けている女性たちが、先進国の日本にも多く存在しています。このコロナ禍において、DV、貧困など過酷な環境下の女性たちも増えてきています。

産婦人科医師の中では、困窮する女性の支援をしようと努力している医師たちは、各地におりました。コロナ禍の状況を踏まえ、全国の医師で連携しながら困窮する女性を支援するため、2020年8月に日本女性財団を立ち上げました。

困窮していながらも、「現金がなく病院にかかれぬ」「保険証が手元にない」など様々な理由で、病院に来られなかったり、恐怖や今後のことが心配で声を上げられずにいる女性たちも多くいます。本クラウドファンディングプロジェクトで支援を募ることで、女性たちが安心して医師のもとへ駆け込めるようにいたします。皆様のクラウドファンディングへのご支援、ご協力をお願いいたします。

#### ■本件のお問い合わせについて

・日本女性財団 広報・PR担当 内田容子: [yohko.uchida@japan-women-foundation.org](mailto:yohko.uchida@japan-women-foundation.org) / TEL: 090-4929-5645  
・READYFOR株式会社 PR部 澤村: [press@readyfor.jp](mailto:press@readyfor.jp) / TEL: 070-1300-0944